

# 暮らしの広場

**がん**

**克服へ** [27]

■胃がん編

工藤 明敏

Q 父も母も胃がんでした。胃がんは遺伝するのでしょうか。

A 胃がんの家族歴のある方はない方に比べて胃がんになる確率が高いというデータがあります。

歴史上の人物で言えば、ナポレオンは胃がんで死亡しましたが、彼の家族には多数の胃がん患者がいたようです。家族であれば食生活、飲酒、喫煙など生活習慣が共通する場合が多く、胃がんは遺伝ではなく、本当は生活習慣ということになります。ピロリ菌感染も家族内に多く見られる傾向があります。

つまり家族歴＝遺伝とは限

## Q&A

### 家族歴 遺伝とは限らない



りません。しかし若い女性のスキルス胃がん(固まりを形く食欲もなくなりました。悪性度が高い)には、遺伝が関与している可能性があまりありません。胃がんの家族歴があれば、40歳を過ぎたら毎年検診することが大切です。

Q 化学療法中ですが、口内炎ができて食事を取りにくく、やわらかくしても粘膜が刺激される時は、あんかけやソースのところに包むと飲み込みやすくなります。

A 小さな、やわらかめ、口当たりよく調理すると食べやすくなります。水分の多いもの(煮魚、野菜の水分を加えた肉団子、煮物など)、やわらかくて口当たりのよいもの(茶わん蒸し、絹ごし豆腐など)を選びましょう。

Q 化学療法を受けるうえで副作用が不安です。治療を上手に続けるにはどうしたらよいのでしょうか。

A 化学療法による副作用は治療継続を困難にします。個人差はありますが、あなたが実感する副作用には、当日や2日目以降に起きる吐き気や食欲不振、2週間前後に起きる口内炎や全身倦怠感、4週間前後に起きる脱毛や手指のしびれなどがあります。これらは、あらかじめ知っていれば治療薬や対応策で、起こさせない、悪化させない方法があります。また、服用期間とは別の休薬期間を守ることで、あなたの体力や免疫力を回復させ、治療の継続を可能にします。



①栄養指導中の片山さつき栄養科主任②口内炎用の食事。焼き魚より白身魚を蒸すと口腔内へ刺激が少ない。野菜は軟らかく煮たり裏返しすると食べやすい

外来化学療法では自宅で副作用が起きるため、副作用が起きた場合は、隠さずにお話しください。一緒に今後の治療方法を考えましょう。

(同業科主任、松尾義哉) 第2火曜日掲載